
中国経済レポート No.43

貿易構造の高度化

～期待される市場メカニズムによる技術革新の促進

【目次】

1. 過剰生産と生産不足が並存…………… p.1
2. 貿易構造の高度化～着実に進んでいる輸出構造の高度化…………… p.1
3. 輸出の高度化に伴い大幅黒字が定着…………… p.2
4. 依然として輸入部品に依存している電気機械産業…………… p.3

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子

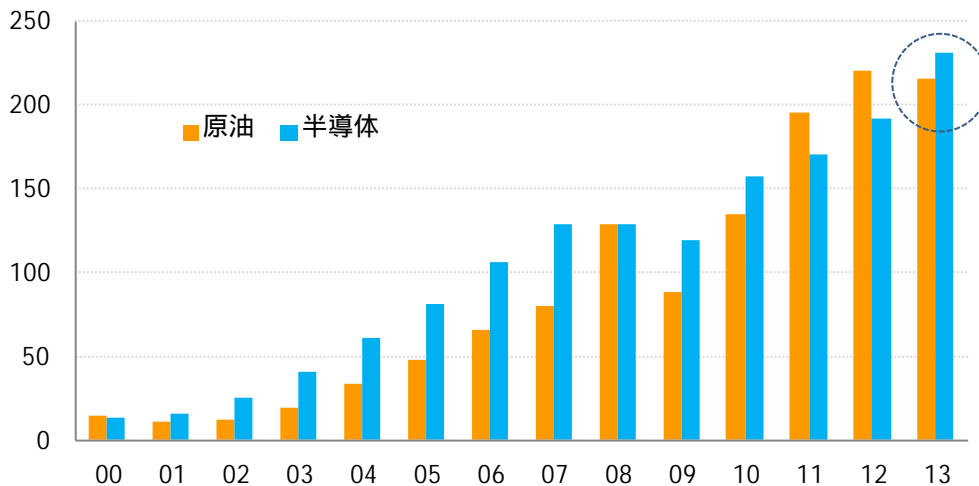
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2

TEL:03-6733-1070

1. 過剰生産と生産不足が並存

人民網日本語版（2013年12月12日）によれば、中国社会科学院は「経済青書2014年版」の中で、多くの業種で「生産力過剰と生産力不足が共存する問題」があり、「チップ産業では、中国のチップは90%が輸入に頼っており、毎年の輸入額は石油を上回っている」と指摘しているという。実際、貿易統計をみると、2013年の半導体の輸入額は1-10月実績の年率換算ベースで2300億ドルを上回り、3年ぶりに原油輸入額（同2200億ドル）を上回る見通しである（図表1）。

（10億ドル） 図表1. 中国の二大輸入品目の輸入金額の推移



（出所）CEIC 2013年は1-10月実績の年率換算値。

一般に中国では産業構造の高度化が着実に進展しており、これを反映して貿易構造の高度化も進んでいると考えられている。貿易構造の高度化とは、具体的には輸出構造の高度化、すなわち主要輸出品目の一次産品から工業製品、労働集約型品目から資本・技術集約型品目への移行と、輸入構造におけるこれとは逆の動きと考えられる。冒頭の社会科学院の指摘は中国の貿易構造が必ずしも一般的に言われているほどには高度化していないことを示しているといえそうだ。

そこで本稿では、経済産業研究所の貿易産業データ RIETI-TID2012 を使って中国の貿易構造の現状について検証してみた。

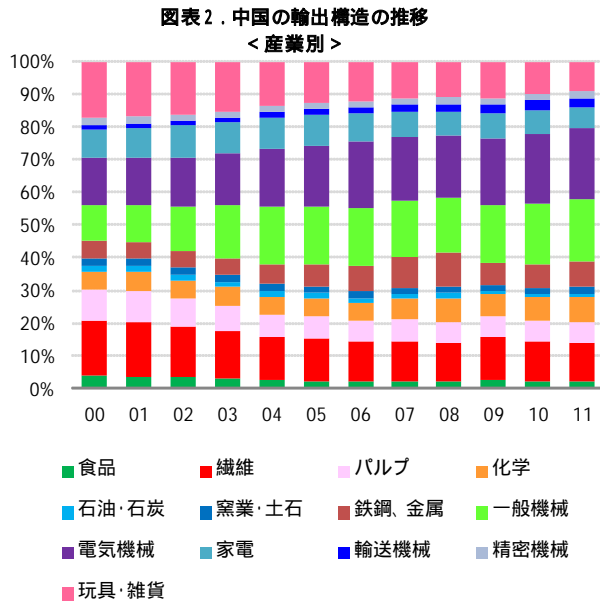
2. 貿易構造の高度化～着実に進んでいる輸出構造の高度化

次頁図表2は産業別にみた中国の輸出構造の推移（2000年からデータ最新年次の2011年まで）を示したものである。ここからは繊維（シェア：2000年17% 2011年12%）、あるいは玩具・雑貨（同17% 9%）といった労働集約的な品目のシェアが縮小し、一般機械（同11% 19%）、電気機械（同14% 22%）といった資本・技術集約的な品目のシェアが拡大していることがわかる。また図表4は輸出構造を生産段階別にみたものだが、資本財のシェアが着実に拡大しており（同18% 30%）、やはり輸出構造が高度化していることを示している。

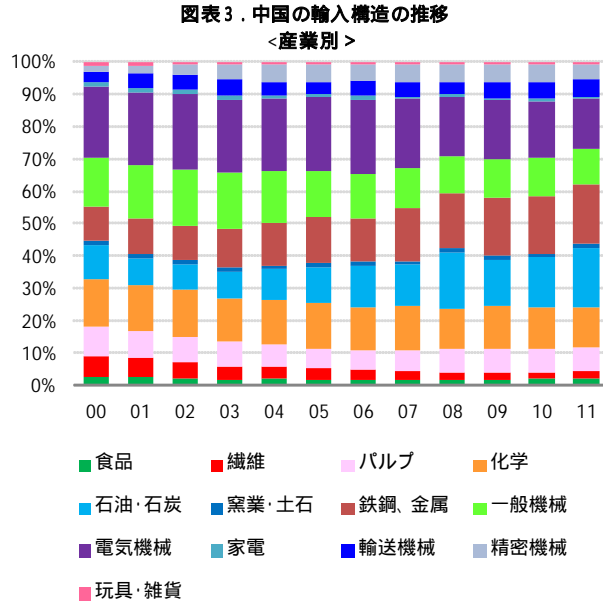
輸入構造についても、産業別には石油・石炭（同10% 18%）や鉄鋼、金属（同11% 18%）のシェアに拡大傾向がみられる一方で、一般機械（同15% 11%）や電気機械（同22% 15%）

のシェアが縮小していることがわかる（図表3）。また、生産段階別では素材（同16%→33%）のシェアが大きく拡大している一方で資本財（同18%→15%）のシェアがわずかに縮小していることがわかる（図表5）。

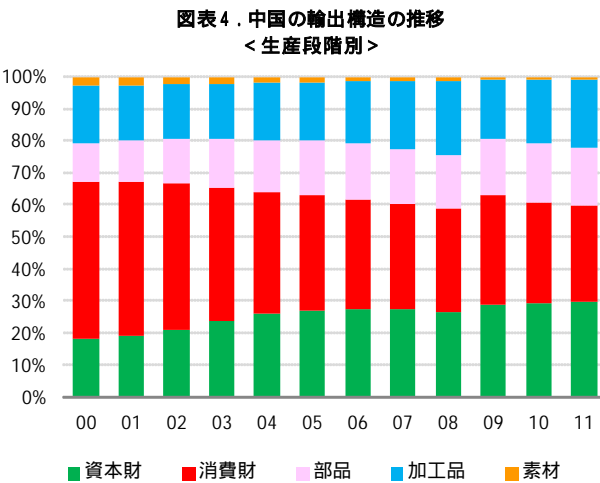
さらに2000年と2011年の各項目のシェアの変化（%ポイント）の絶対値を合計し輸出と輸入で比べてみると、産業別（輸出：43 vs. 輸入：39）でも生産段階別（輸出：42 vs. 輸入：36）でも輸出構造に比べて輸入構造の変化が相対的に小さいことがわかる。



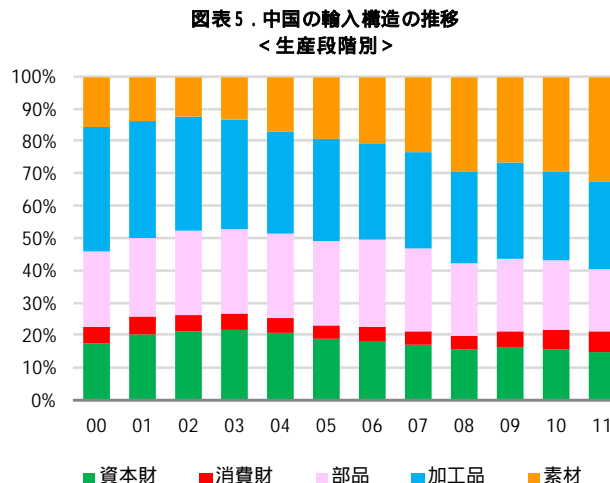
(出所) RIETI-TID2012



(出所) RIETI-TID2012



(出所) RIETI-TID2012



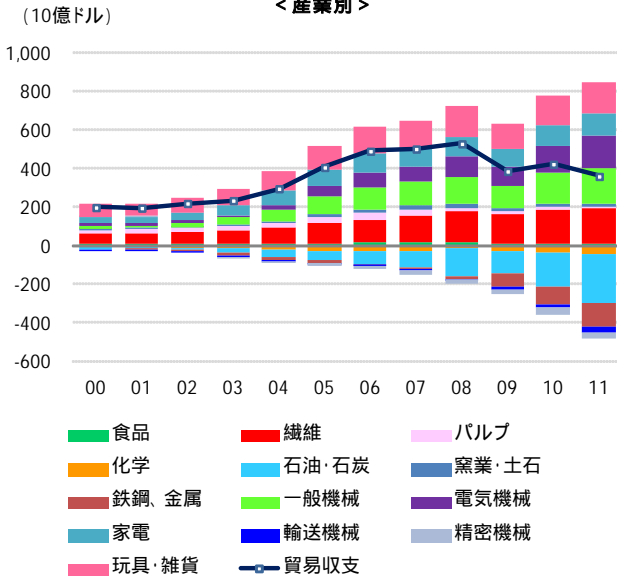
(出所) RIETI-TID2012

3. 輸出の高度化に伴い大幅黒字が定着

輸出の高度化は中国の貿易収支の黒字拡大の定着に寄与しているようだ。次頁図表6は産業別の貿易収支を積み上げたものだが、2000年代半ば以降、繊維や玩具・雑貨の黒字に一般機械や

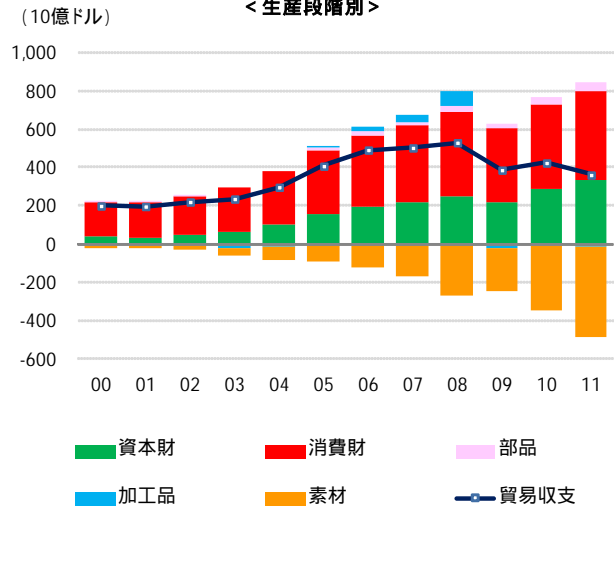
電気機械、家電の黒字が加わり、黒字幅が拡大していることがわかる。同様に生産段階別には消費財の黒字に資本財の黒字が加わった結果、貿易黒字幅が拡大し、かつ定着していることがわかる（図表7）。ただし、近年、一次産品価格の高騰から産業別では石油・石炭や鉄鋼、金属、生産段階別では素材の赤字幅が拡大し、貿易黒字全体の拡大が抑制されているようだ。

図表6. 中国の貿易収支の推移
<産業別>



(出所) RIETI-TID2012

図表7. 中国の貿易収支の推移
<生産段階別>



(出所) RIETI-TID2012

4. 依然として輸入部品に依存している電気機械産業

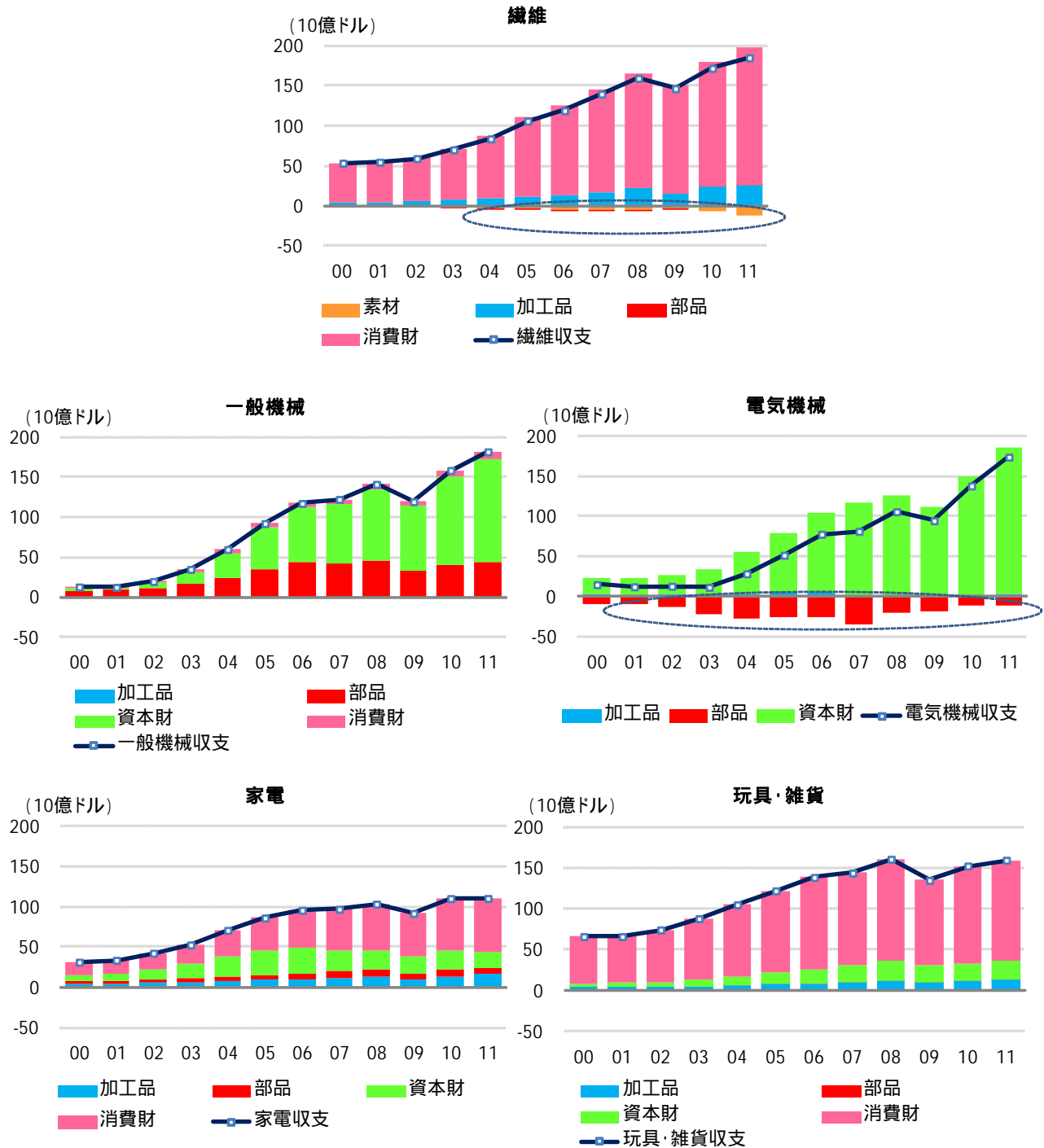
以上の分析はいずれも貿易構造、中でも輸出構造の高度化が着実に進展し、その結果として貿易黒字が定着していることを示している。ところで産業別あるいは生産段階別の貿易黒字は単純に考えてその産業なり財に国際競争力があることを示していると考えられる。そこで次に最終財（資本財と消費財）段階で高い国際競争力を持ちながら生産能力の不足により輸入に依存している品目があるとの社会科学院の指摘を検証するために貿易黒字の稼ぎ頭である繊維、一般機械、電気機械、家電、玩具・雑貨の5つの産業について生産段階別の収支構造をみてみた（次頁図表8）。

これをみると、一般機械、家電、玩具・雑貨は生産段階のすべてで黒字を計上しており、高い国際競争力を有していることが示唆されている。これに対して、繊維は近年、素材段階の収支が赤字化しており、最終財の国際競争力は高いものの、生産を拡大する中で海外の繊維素材への依存度が高まりつつあることが示されている。また電気機械も最終財段階では黒字幅の拡大が示すように国際競争力を大きく高めているものの、部品段階では恒常的に赤字を計上しており、輸入への依存が続いていることが示されている。輸入チップに依存しているとの指摘はこうした状況を示していると考えられる。

なお、ICチップの輸入拡大を伝えるNNAの記事（2013年11月29日）は、国内のICチップ生産能力は近年、大幅に拡大しているものの、国内の技術水準ではミドル・ローエンドのチップまでしか生産できないため、ICチップの輸入が拡大していると指摘している。

11月に開催された「三中全会」の「決定」によれば、「科学技術体制改革の深化」も重要な課題のひとつとされており、市場メカニズムを活用し、技術革新を促進させることが謳われている。「決定」に沿った地道な取り組みにより技術革新が進み、経済構造が一段と高度化していけば、輸出構造の高度化に加えて、今後、輸入構造にも大きな変化がもたらされるかもしれない。

図表8. 貿易黒字を計上する主要産業の生産段階別収支の推移



(出所) RIETI-TID2012 (注) 産業によって生産段階の構成は異なる。

以上

- ご利用に際して -

- l 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- l また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- l 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- l 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- l 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。